

素敵な夢の叶え方

SAKURA MARIA

咲夢 まりあ

私には憧れたけれど、なれなかった職業がたくさんある。具体的に努力したが叶わなかったのもあれば、厳しい現実に関心し目指すことすらしなかったものも多い。

私は CA になりたかった。私の時代の呼称は「スチュワーデス」だったのだが。158cmの微妙な身長。英語も自信はない。そもそも私なんかになれるはずがなかろう、と考えあつさりあきらめ目指すこともしなかった。ところが。

マナー研修講師として、戦闘服である黒のスーツを着て髪をそれこそCAさんみたいにして搭乗していたある日のこと。座席によっては、CAが対面席に座ることがあるが(いわゆるお見合い席)、私のななめ前に座った綺麗なCAさんが何となくソワソワしている(ように見えた)。同僚のCAさんもチラッと私を見る。

なんで？

「航空会社の抜き打ちチェックの試験官」と思われていたことがあとで分かった。エコノミークラスにしか乗れないただの乗客なのに、本物のCAさんから、CAをチェックする人に見えたのだ！マナー研修講師仲間にも「元CAです」という人がたくさんいるが、中には「ホンマに元 CA なの？」と思わせる人も多い。それより、CA じゃないのに、CA みたいに見えるほうが素敵じゃない？！

さらに！実は空港の売店で、勝手に従業員割引されたことも2度ある。「JALの方ですよ」って勝手に言われて勝手に割引かれた。相手が勝手に「元CAっぽいな」と考えるなら、と思われたらもうなったようなもんじゃない？そういうことにしておこうと。ちょっと、嬉しい。

こんな夢の叶え方もあるのだ、と思う。